

総務政策常任委員会資料

令和8年7月23日(木)

総 合 政 策 部

目次

I その他報告事項

○宮崎カーフェリー株式会社の経営状況等について（総合交通課）	3
--------------------------------	---

I その他報告事項 宮崎カーフェリー株式会社の経営状況等について

宮崎カーフェリー株式会社の経営状況等について

総合交通課

令和7年度の経営状況等

(1) 輸送実績

台風等の悪天候による欠航がなく、「大阪・関西万博」に伴う移動需要の高まりに加え、引き続き「物流の2024年問題」への対応に伴う陸上輸送から海上輸送への転換が進んだことなどにより、前年度に比べ貨物・旅客ともに増加した。

(単位: 台、人)

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	コロナ前比 (R元比)
貨物(トラック台数)	66,353	60,243	59,918	61,036	69,076	74,504	75,264	101.0%	113.4%
一般旅客	132,303	33,416	40,301	94,609	124,042	135,168	150,545	111.4%	113.8%

(2) 決算状況

前年度を上回る輸送量の確保により営業収益が増加したこと、また、国の燃料油価格激変緩和措置によって燃料費負担の軽減が図られたことなどにより、経常利益(損益)は4年連続の黒字を確保した。

(単位: 百万円)

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	コロナ前比 (R元比)
営業収益	5,609	4,240	4,667	5,905	6,599	7,431	7,687	103.4%	137.0%
営業費用	5,347	4,738	5,178	5,732	5,827	6,083	6,363	104.6%	119.0%
うち燃料費	1,964	1,631	2,489	1,963	1,721	1,791	1,819	101.6%	92.6%
営業利益(損益)	262	▲ 498	▲ 511	173	773	1,348	1,324	98.2%	505.3%
経常利益(損益)	192	▲ 434	▲ 294	473	705	1,187	1,111	93.6%	578.6%

(参考)

県からの補助金
(令和7年度)

(単位: 百万円)

燃油高騰等に関する支援	21
利用促進等に関する支援	26
計	47

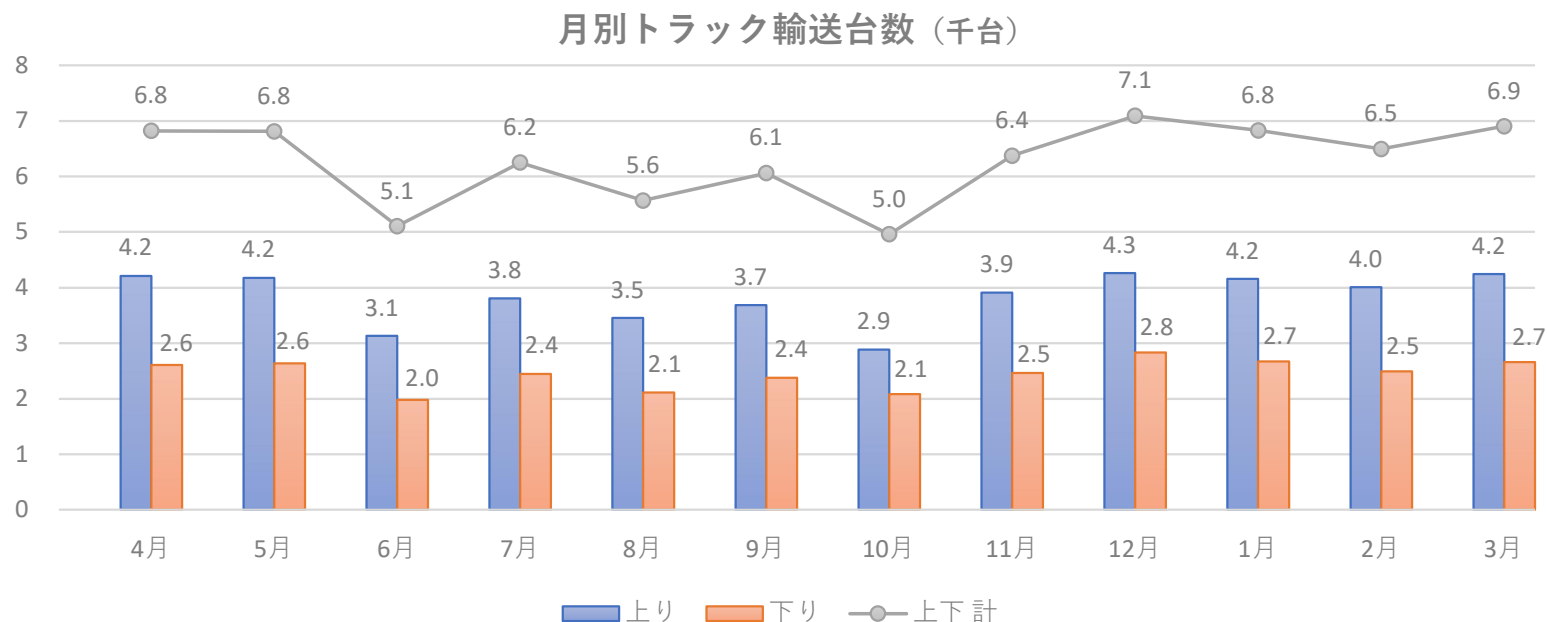
※ 連結決算

I その他報告事項 宮崎カーフェリー株式会社の経営状況等について

(3) 月別の輸送状況（令和7年度）

① 貨物（トラック）輸送量

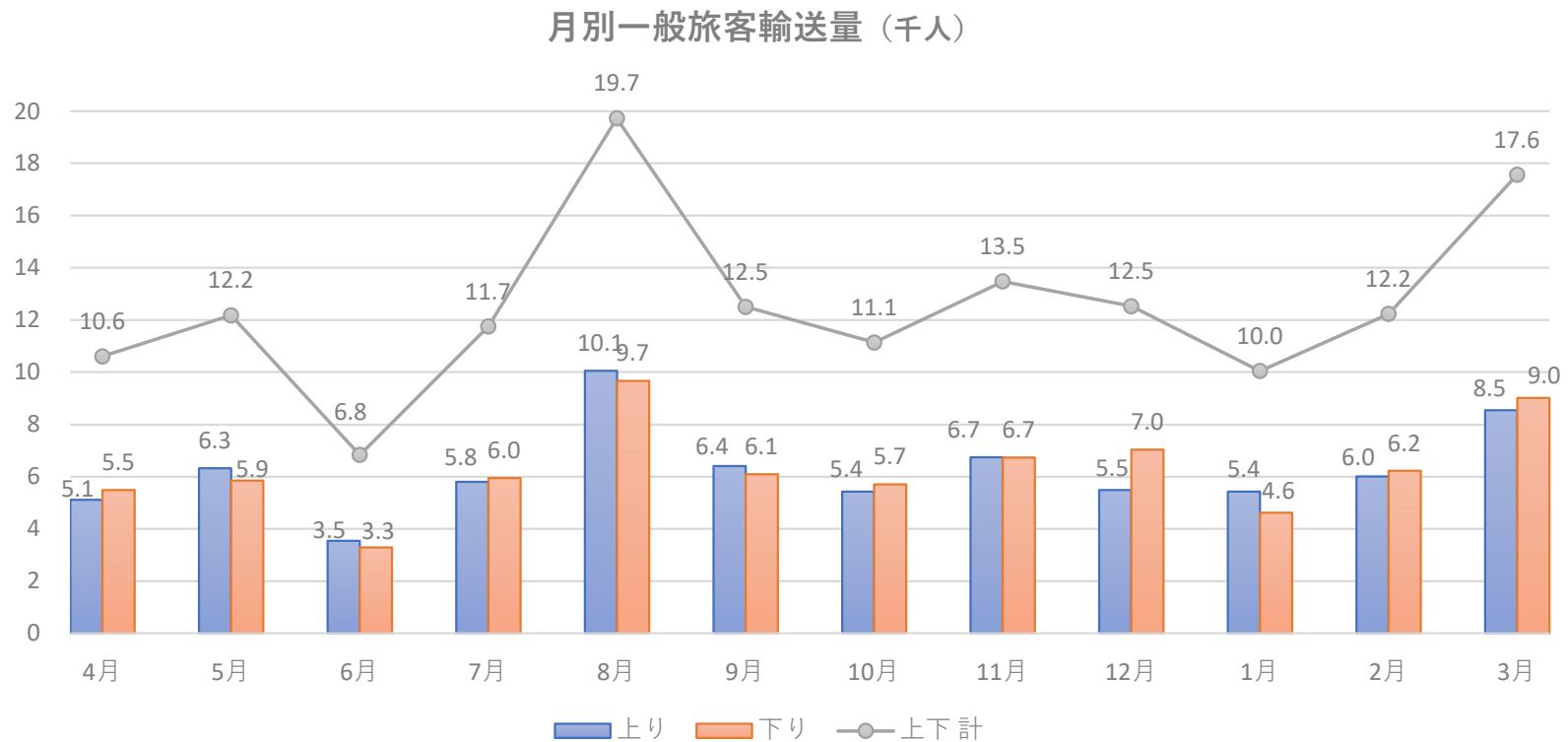
- ・ 県内で生産される農畜水産物を中心に輸送しており、出荷量が増加する冬場(下半期)を中心に貨物量が増加する傾向がある。
- ・ 下り荷は、宮崎に直送される貨物が少なく、北部九州向けの貨物などを陸送で運びながら宮崎に戻るため、上り荷に比べ少なくなっている。



I その他報告事項 宮崎カーフェリー株式会社の経営状況等について

② 一般旅客輸送量

- ・ 夏休み期間や行楽シーズンを中心に一般旅客数が増加している。
- ・ 3月のスポーツキャンプや卒業旅行などの需要も一般旅客数の増加を下支えしている。
- ・ 年間を通じてみると、上り便・下り便の旅客数は均衡している。



I その他報告事項 宮崎カーフェリー株式会社の経営状況等について

(4) 上り荷・下り荷の状況

上り荷と下り荷の割合は、概ね6:4となっており、上り荷に比べ下り荷が少ない状況が続いている。

(単位:台)

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	
上り荷	39,929	36,839	36,676	37,087	41,777	45,521	45,916	+395	100.9%
下り荷	26,424	23,404	23,242	23,949	27,299	28,983	29,348	+365	101.3%
計	66,353	60,243	59,918	61,036	69,076	74,504	75,264	+760	101.0%

(参考)県による貨物確保に向けた支援(令和7年度)

【上り荷に対する支援】

- モーダルシフト促進強化事業(県内トラック運送事業者への補助:19,172千円)
補助対象となる輸送機関を利用して輸送した貨物量(増加分)に対する支援
⇒ 宮崎カーフェリー利用分として延べ1,880台分を支援
- 広域物流網利用促進事業(県外トラック運送事業者・荷主企業への補助:10,897千円)
補助対象となる輸送機関を活用して輸送した貨物量(増加分)に対する支援
⇒ 宮崎カーフェリー利用分として延べ701台分を支援

【下り荷に対する支援】

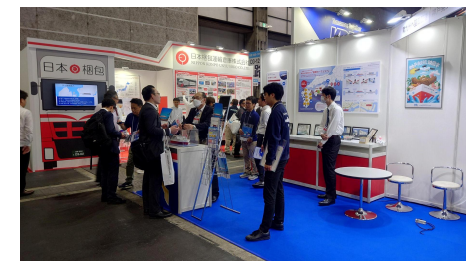
- 下り荷確保強化事業(宮崎カーフェリーへの補助:21,250千円)
下り荷の確保を図るためトラック運送事業者への戦略的な運賃割引等を支援
⇒ うち新規利用や純増分として延べ916台分を支援

I その他報告事項 宮崎カーフェリー株式会社の経営状況等について

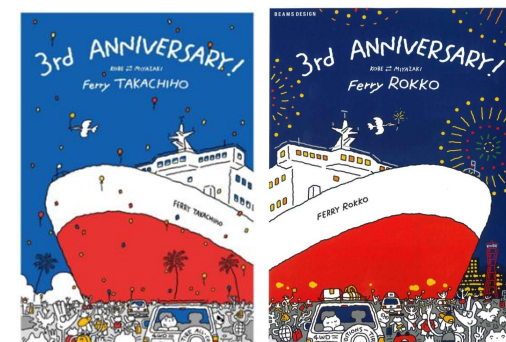
(参考) 宮崎カーフェリー株式会社の利用促進や広報などの主な取組

令和7年度

- 新規貨物確保のための物流展等への出展
(航路や船の特長の紹介、貨物営業の強化)
- 「たかちほ」(4月)・「ろっこう」(10月) 新船就航3周年記念イベント
(キービジュアルを活用したポスターや限定グッズの製作・配布、
宮崎市や神戸市でのイベント開催)
- 県立高校との包括連携協定の締結
(人材育成や農水産物の付加価値向上及び流通の強化などを目的に
宮崎カーフェリー株式会社・宮崎海洋高校・高鍋農業高校の3者で協定を締結)
- 海の日キッズ船内見学会
(小中学生を対象とした見学会を開催し、保護者含め約700名が参加)
- 小学生交流事業「ワクワクドキドキ船のたび」
(県内市町村と神戸市の小学生約70人が神戸市内で交流を深めた(毎年交互に訪問))
- 神戸まつりでのブース出展(SNSを活用した抽選会、パンフレット配布)
- まつり宮崎でのブース出展・神戸サンバチームのパフォーマンス
(SNSを活用した抽選会、パンフレット配布、来場者参加型のサンバ披露 など)



▲ 出展した物流展の様子



▲ 新船就航3周年ポスター



▲ 神戸サンバチームのダンス披露

引き続き、宮崎カーフェリー株式会社や関係機関等と連携し、利用促進に取り組んでいく。